



# 都市 +

# デザイン フォーラム

ACTION for Public Space —今なすべきこと—

公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター（udc）では、「魅力ある創造的な都市・地域空間の再興を推進するための行動」を「ACTION for Public Space（APS）」と名付け、APS 推進会議を設置して調査研究および実践活動を進めています。このフォーラムは、われわれ APS 推進会議と問題意識をともにする全国のみなさまに、「ACTION」を進めていくための一助としていただくことをねらいとしています。

## 公共空間とデザイン

Public Space は、いつでも、どこでも、話題の中心にある。Public Space が大事に扱われていない時、世界中で誰もが、何か言いたくなるはずだ。Public Space は都市デザインの主たる関心の一つであり、昔からも今も注目の的、デザインの場である。

Action for Public Space (APS) は、Public Space に対して、様々な働きかけが必要と考えて、皆が考え、行動する仕掛けをつくろうという趣旨でつくられた会議体である。

今回は、出口さん、平野さん、武田さんのお三方に集まっていただき、短時間ではあるが、密度の濃い議論を期待していただけたらと考えている。

### 出口敦

・ 東京大学大学院  
新領域創成科学研究科  
教授



### 平野勝也

・ 東北大学  
災害科学国際研究所  
准教授



cross  
talk

### 武田史朗

・ 立命館大学理工学部  
教授



### 小出和郎

・ ㈱都市環境研究所  
代表  
・ APS 推進会議



\* 司会進行

第 21 回

平成 30 年 7 月 25 日 (水) 15:00 ~ 17:30

会場：公益財団法人 都市計画協会 3 階  
(東京都千代田区紀尾井町 3-32)

<http://www.tokeikyou.or.jp/about/contact.html>

主催者・事務局

ACTION for Public Space 推進会議  
(公財) 都市づくりパブリックデザインセンター

<https://www.udc.or.jp/>

※フォーラム参加は無料です。

※下記 udcHP の講習会「都市+デザインフォーラム」の申し込みフォームからお申し込みください。

<https://www.udc.or.jp/publics/index/194/>

※定員に達し次第申し込みを打ち切ります。

都市計画  
CPD

## >> 出口敦 Atsushi DEGUCHI

・東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

1990年3月 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了(工学博士)。専門分野は都市デザイン学。公共空間とストリートのデザイン・マネジメント、エリアマネジメントについての研究と実践活動を進めている。九州大学在職中には、九州大学新キャンパス(伊都キャンパス)のマスタープラン、アイランドシティのマスタープラン等に参画、福岡都心部のエリアマネジメント協議会である「We Love 天神協議会」「博多まちづくり推進協議会」の設立・運営に参画するなど、都市デザイナー、実務者としても活躍。2011年からは千葉県柏市の柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)センター長を務め、同地区の都市デザイン・マネジメントを主導。2016年にはUDCKと三井不動産株式会社の共同申請により同地区は我が国初のLEED-NDプラチナを取得。UDC2(千葉県柏市)、UDCtak(東京都板橋区高島平)のセンター長を務め、一般社団法人UDCイニシアチブ代表理事としてアーバンデザインセンター(UDC)の普及に務める。著書に「アジアの都市共生」(編著、九州大学出版会)など多数。



## >> 平野勝也 Katsuya HIRANO

・東北大学災害科学国際研究所 准教授

1968年生まれ。名古屋出身。1993年東北大学大学院工学系研究科土木工学専攻修士課程修了。博士(工学)。建設省(現国土交通省)入省後、北海道開発局勤務、1995年東北大学工学部土木工学科助手等を経て現職。専門は景観工学・土木デザイン。主な研究テーマは、街路・空間イメージ・都市の記憶・認識など。3.11以降、石巻市の各地や女川町の復興まちづくり、岩手・宮城各地の防潮堤・水門の復旧デザインや高田松原復興記念公園、名取市閘上のかわまちづくりなどに実務的に関わっている。主な受賞は2018年度国土交通省都市景観大賞大賞(国土交通大臣賞)、土木学会デザイン賞2016奨励賞、2012年度グッドデザイン賞など。



## >> 武田史朗 Shirou TAKEDA

・立命館大学理工学部 教授

1972年東京都生まれ。1995年東京大学工学部建築学科卒業、2002年ハーバード大学GSD MLA-I修了。2007年大阪府立大学大学院生命科学部研究科博士後期課程修了。博士(緑地環境科学)、一級建築士。専門はランドスケープアーキテクチャーと建築設計。2004年立命館大学理工学部建築都市デザイン学科に着任、現在同教授、立命館キャンパス計画室副室長。内井昭蔵建築設計事務所、オンサイト計画設計事務所、ハーグレイブス・アソシエイツ(米)を経て、2004年より武田計画室。公共施設のランドスケープやキャンパス計画、造園学の教育研究に携わる。受賞に2015年度グッドデザイン賞、2015年度大阪ランドスケープ賞、日本造園学会賞(2008年度研究論文部門、2016年度著作部門)他。著書に『テキストランドスケープデザインの歴史』(学芸出版社、2010年)、『自然と対話する都市へ：オランダの河川改修に学ぶ』(昭和堂、2015年)他。作品に、立命館大学大阪いばらきキャンパス(2015年)など。



## >> 小出和郎 Kazuo KOIDE

・(株)都市環境研究所 代表

・APS 推進会議

1971年東京大学工学部都市工学科卒業。1975年同大学院工学系研究科都市工計画専攻修士課程修了。1972年より(株)都市環境研究所に入社、1983年代表取締役就任。現在に至る。

技術士(建設部門/都市及び地方計画)、認定都市計画プランナー。(一社)都市計画コンサルタント協会理事、技術委員長。都市計画全般が対象だが、奈良県の今井町の町並み保存、長野冬季五輪の選手村など歴史的環境、景観、都市デザインなどの業務に関わることが多い。著書に『今井の町並み』(鹿島出版会)、『日本の風景計画』(学芸出版社)、『英国CABEと建築デザイン・都市景観』(鹿島出版会)など多数。



### 【UDC ネットワーク】

行政都市計画や市民まちづくりの枠組みを超え、地域に係る各主体が連携し、都市デザインの専門家が客観的立場から携わる新たな形のまちづくり組織や拠点を「Urban Design Center:UDC」と捉えている。

国内外事例を研究すると共に、UDCK自らが「実証実験モデル」となって、UDCネットワークを全国に展開している。

<http://www.udck.jp/network/>

### 【udc:(公財)都市づくりパブリックデザインセンター】

平成元年に都市における公共空間のデザインに関する総合的な調査研究及び技術開発等を行う財団法人都市づくりパブリックデザインセンター(urban design center,japan(略称udc))として設立。平成26年度からは公益財団法人に移行し、調査研究事業の一環としてAPSを設置。

<http://www.udc.or.jp/>

